

(テーマ) 図書館のPR実践  
乙骨 敏夫(埼玉県立熊谷図書館)

## 時代に即した図書館経営戦略とPR実践について

### 0 はじめに

#### 1 困難な時代の図書館経営戦略

##### (1)「本が読まれない」時代

- ア 堅い本が売れない / 学生が本を読まない時代
  - ・教養としての読書(～1970年代まで)
  - ・ファッションとしての書物(1980～1990年代)
  - ・反知性主義の標的としての書物・読書(2000年代～)
- イ 読書衰退の背景にあるもの
  - ・読書観の変化
  - ・総読書時間の減少
  - ・ブラウジングの衰退
- ウ 求められる戦略
  - ・「**入口支援**」を見直す

##### (2)「施設が使われない」時代

- ア 非来館型サービスの浸透
  - ・来館を要求しない図書館
  - ・行かないで済むことを歓迎する利用者
- イ 単純なコンテンツでは人を呼べない時代
  - ・魅力ある来館コンテンツに乏しい図書館
  - ・多彩な誘因で来客増を図る他の施設
- ウ 求められる戦略
  - ・「**企画展型**」「**ライブ会場型**」に力を入れる

### (3) 「専門家が信頼されない」時代

- ア 専門家を軽視する傾向
  - ・モノづくり以外の分野では専門家が尊敬されない
- イ 図書館員に吹きつける強い向かい風
  - ・公務員バッシング
  - ・専門家としての認知度の低さ
  - ・検索の世俗化
- ウ 求められる戦略
  - ・ヒト (=図書館員) を売り出す

## 2 PR 実践の四つの場面

### (1) 利用の促進

- ・対象の絞り込み (関心領域の細分化)
- ・プラス面の強調 (マイナス面はただし書き)

⇒ 事例研究 (1)

### (2) 予算の獲得

- ・自治体の施策との一致
- ・具体的な成果の強調

### (3) クレームへの対応

- ・クレーマーの登場
- ・PR のターゲットとしての文書クレーマー

⇒ 事例研究 (2)

### (4) サポーターの拡大

- ・広告塔としての図書館員
- ・登録率、支持率、不支持率

## 3 事例研究

### (1) 広報物 (チラシ) 作成のポイント

- ・主要5項目とその順序
- ・参考になる新聞見出し

### (2) 広聴 (利用者の声) 対応のポイント

- ・主旨を押さえ、正対する
- ・感謝と陳謝
- ・起承転結の重要性